

図工 6年 感じたままに花

【教科書 8～9 ページ】

みどり色は、たくさん集まりましたか？

5月も半ばになり、校庭の木々の色もいっそう濃くなりました。
たくさんの花も咲いています。



今週は、自分が思いついたこと、感じたことを大切にして、

絵の具で花をかいてみましょう！

- 1 「こんな色の花があつたらいいな。」「前に見た、ああいう花が好きだな。」

あつたらいいなと思う花を想像しよう。

教科書（8～9 ページ）の作品例の題を見てみよう。

「心の中の花」 「感情を持つ花」 「宇宙に咲く希望の花」

「花のたましい」 「元気をくれる花」

どれも実際にある花ではありません。

自分の頭の中に咲かせた、想像の花です。

2 自分だけの色をつかって、感じたままにかこう。

鉛筆の線がきはしません。

絵の具を混ぜたり水で薄めたりして、色をつくりましょう。

(3色以上混ぜるとにごってしまうので注意して!)

5年生までに学んだことを生かして、筆使いも工夫しましょう。

作品例のように、黄ボール紙や色画用紙など、普通の画用紙でなくてもOK。
紙を切って、正方形にしたり細長くしたりするのも、いいかもしれませんね。

3 できあがった花は、どんな花？

教科書(9ページ)の作品例のコメントを見てみよう。

「将来への希望や不安といった自分の今の気持ちを表しました。」

「地球の平和を願ってかきました。」

「強い生命力や、かれてしまう弱さなど、花のたましいを表しました。」

絵が完成したら、裏に氏名と題を書きます。

そして、花にこめた自分の思いや、花から思いついたことを文で書きます。

♥ 授業が再開したら、作品を見せてください。

♥ NHK for School「キミなら何つくる？」のNo.1「えがこう！感じてフラワー」を見てみましょう。筆使いがよくわかりますよ。

先日、母の日にガーベラの花束をもらいました。
すっとまっすぐに伸びたくきの先に、あざやかなオレンジ色の花が咲いています。
花びらは、迷いなど全くの無いように、天に向かって大きく開いています。
そんなガーベラは、朝、家を出るとき、エールを送ってくれるのです。
“Go straight!”
こうして、直球勝負の一日が始まります。

